

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室		
		実施期間	S33 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）							
8つの重点目標	⑥様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

### 1 現状と課題

目指す姿	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>野生鳥獣総合管理（生息調査、計画策定、捕獲支援）</li> <li>狩猟の適正化（狩猟免許、登録）など</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥類による果樹被害など防除の困難な被害が増加しつつある。</li> <li>管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害防除とともに、緩衝帯整備、不要果実の除去等の効果のある生息環境の整備などの、総合的で効果的な対策を地域とともに推進。</li> <li>シカの生息分布の変化等の調査結果や捕獲方法の改善、また、高度な捕獲技術を有する者の育成などによりシカの捕獲を推進。</li> </ul>

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣の生息域と集落を区分する緩衝帯や移動経路となる河川周辺の整備</li> <li>防護柵の設置や追い払い等、地域の実態に応じた被害防除対策の支援</li> </ul> </li> </ul>	防除対策の現地指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲技術等を有する技術者の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>高度な捕獲技術を有する者の育成のため、公募により対象者5名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施</li> <li>狩猟や有害鳥獣捕獲に携わる人材を増やすため、ハンター養成学校を開校し、必要な知識、技術講習を受講</li> </ul> </li> <li>特定鳥獣保護管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>イノシシに関する生息状況調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において検討を行い、第二種特定鳥獣管理計画を策定</li> <li>次期計画策定の基礎資料とするためのニホンザル生息状況調査、及びカモシカ個体群動向調査を実施</li> </ul> </li> </ul>	ハンター養成学校	
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【ゼロカーボン】総合的な獣害対策を図り、林業被害を防止し森林の成長を促進することで、ゼロカーボンの取組みを推進		

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	農林業被害額	千円	739,890	▽	742,308	▽	764,147	725,939
2								
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越		0	0	要求
当初予算		506,833	413,475	予算案	397,605
補正予算		-127,192			
合計(A)		379,641	413,475	要求	416,150
うち一般財源		125,897	87,788	予算案	95,525
決算額(B)		358,661			76,980
職員数(人)		7.0	7.0		7.0

設定理由	成果指標	1.農林業被害額により事業効果を検証している
	目標値	1.令和3年度見込額に対して、減少率5%をかけた目標値を設定

予算要求からの主な変更点	狩猟対策事業について、県営射撃場修繕計画を見直したことにより、工事請負費を減額
--------------	---

事業番号	10 05 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	狩猟対策事業		28,547 千円	22,889 千円	要求 予算案	36,204 18,467 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	免許事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 【狩猟者登録 5,600件】			
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備			
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施			

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	鳥獣保護管理事業		50,238 千円	43,840 千円	要求 予算案	36,472 35,664 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 【鳥獣保護管理員 126人】			
2	特定鳥獣保護管理事業	直接	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催			
		委託	野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、ニホンザル生息状況等調査を実施し、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施 令和3年度に実施した調査結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画(イノシシ)を策定			

事業番号	10 05 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
3	野生鳥獣総合管理対策事業費	283,434 千円	329,246 千円	要求 予算案	325,074 325,074 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策を講じるための経費に対する支援を実施			
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証調査を実施			
3	持続型捕獲モデル実証事業	委託 補助金	再生林の支障となるニホンジカの捕獲を促進するため、ドローン等のデジタル技術を活用した効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエフル活用に向けた取組に対する支援を実施			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
4	豚熱対策事業	144,614 千円	17,500 千円	要求 予算案	18,400 18,400 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	野生いのししの生息環境対策を主軸とした総合的な獣害対策	直接 委託 補助金	「生息環境対策(緩衝帯整備)」を主軸として、「侵入防止対策」、「捕獲」の3つの対策をパッケージとする総合的な獣害対策に取り組み、いのしし対策の長野モデルとして発信する。			